

■台風対策の準備を万全に

～7月から9月は、台風の接近が一番多い時期です～

台風の接近に伴い、強い雨や強風のおそれがありますので、気象庁（甲府气象台）等の台風情報に注意し、被害防止のための事前・事後対策の徹底をしましょう。

ただし、台風が接近した場合には、強風等による人的被害の危険性が高まりますので、大雨や強風が治まるまでは、見回りなどは行わないようにしましょう。

また、大雨が治まった後でも増水した水路その他、危険な場所には近づかないなど安全には十分注意し、転落、滑落事故に遭わないように慎重を期してください。



【事前対策】

- ほ場周辺の排水路を点検、補修、整備し、排水路からの逆流防止のため、ゴミなどを取り除き、ほ場内には、排水溝を設けましょう。
- 風の強く当たる地域では、ほ場周辺に防風ネットを設置しましょう。
- ナス、トマト、キュウリなどは、倒伏を防ぐため、支柱の補強、固定、誘引等を行いましょ。

【事後対策】

- 滞水しているほ場は、速やかに排水を行って下さい。
- 茎葉の損傷により、病害の発生が懸念されるので、殺菌剤の予防散布を徹底しましょう。
- 茎葉の損傷が激しい場合は樹勢回復を図るため液肥の葉面散布を行いましょ。
- ナス、キュウリ、トマト等は、キズ果を早めに除去し、樹に負担がかからないようにしましょ。
- 倒伏したものは速やかに引き起こし誘引し、根を切らないように注意して下さい。ただし、スイートコーンは、無理に引き起こすと根を傷めるので、そのまま管理しましょ。

峡南農務事務所 農業農村支援課
(峡南地域普及センター) 生産振興担当

055-240-4131